



Creative Application A22

メディア実装の勘所3

折衷と合一 「マルチメジャー・メディウム」

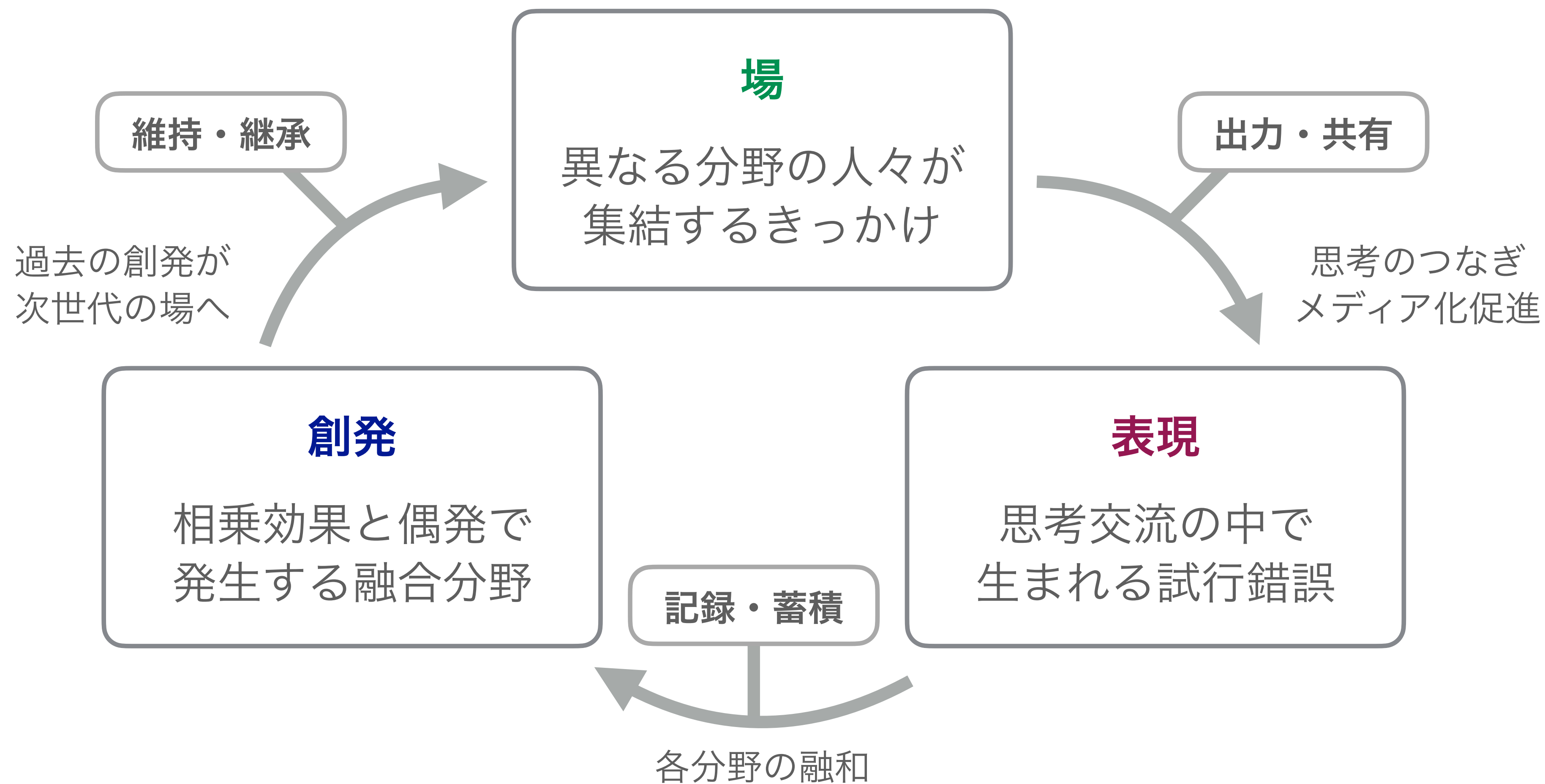
2024年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

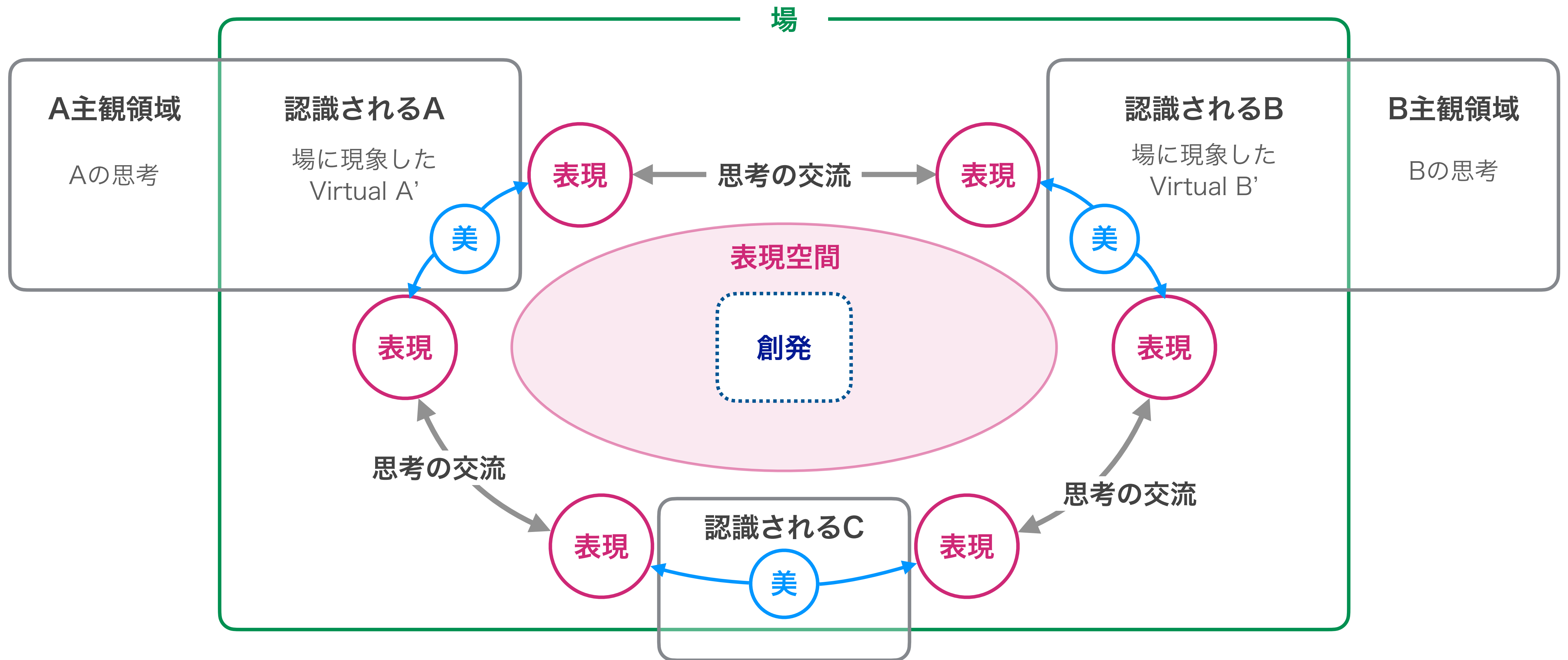
本日のテーマ

- ▶ **分野をつなぐ感性を育む・メディウムになる**

[A04+] メディア・サイクル



[A12+] メディア・モデル



マルチメディアー1 - 主客の折衷と合一

▶ 折衷と合一

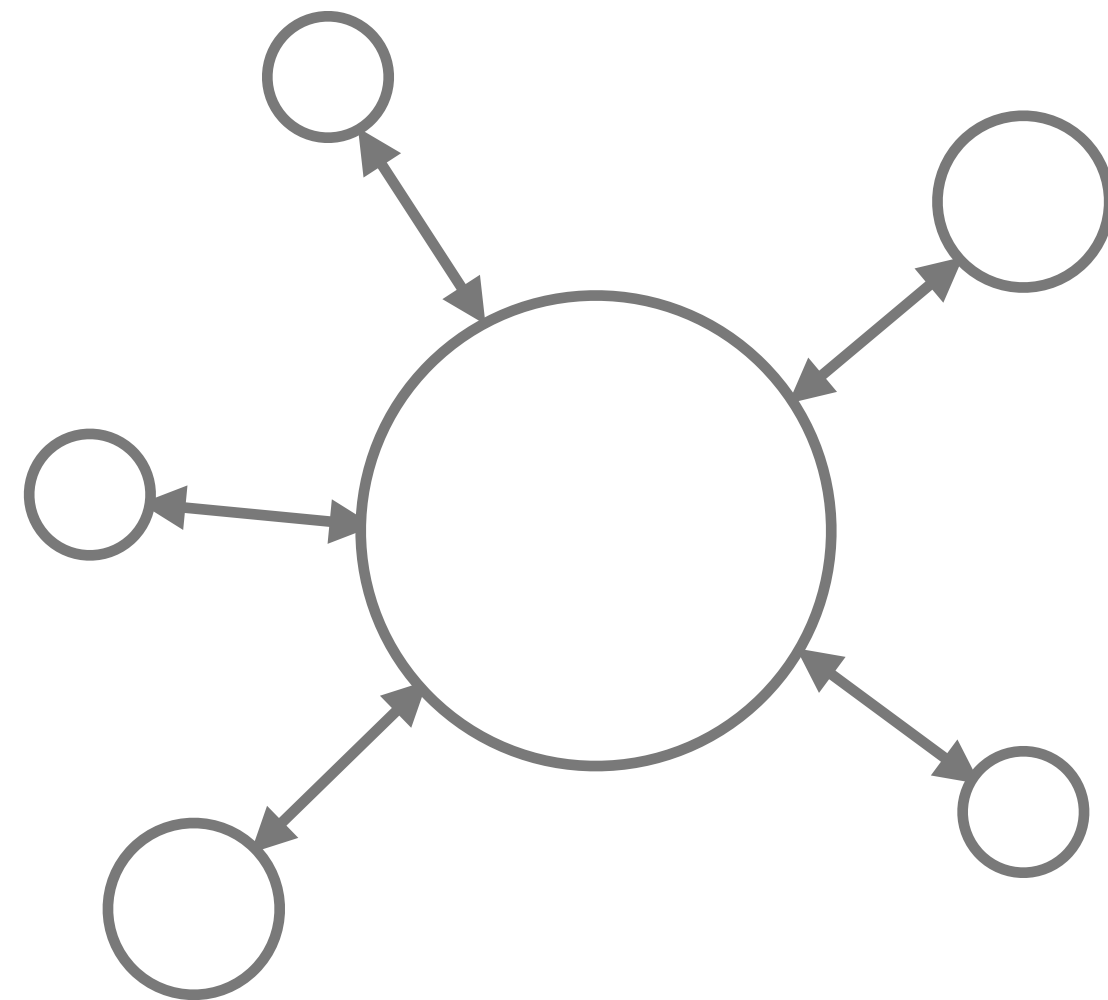
- ▶ 折衷：異なる考えの極端を捨て、ほどよいところを取り合わせる
- ▶ 合一：一つに合わせること

▶ **主客合一**(西田幾多郎)

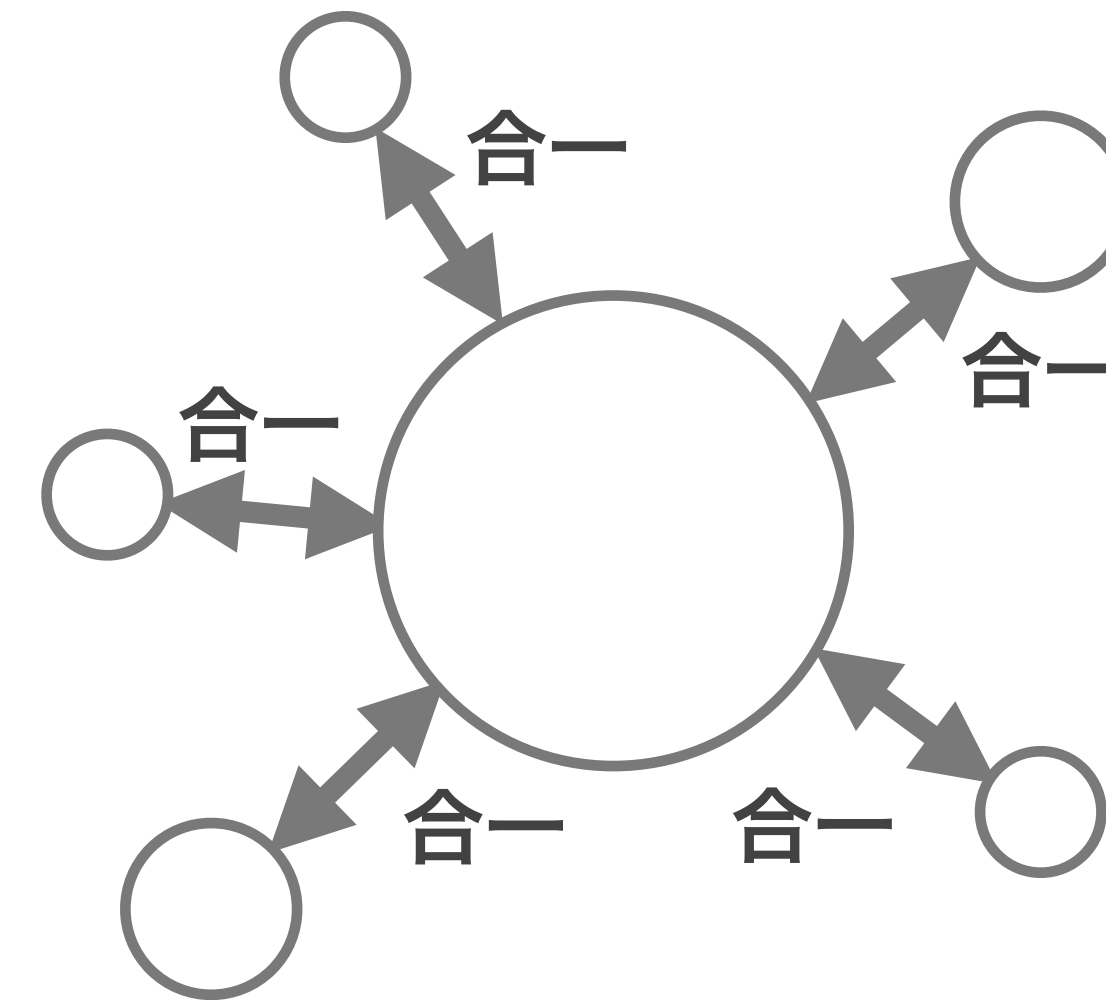
- ▶ 主体が客体を認識するときに客体と合一すること
- ▶ 区別で主客を捉える認識と対照的に、主客を重ねることで理解を進める
- ▶ 日本は主客合一を無意識の感性としてもつ文化的土壌がある [A11]

マルチメジャー2 - 分野合一の相互作用

- ▶ 分野間のメディア化の効用 → 新たな試行錯誤の発露 [A04]
- ▶ **分野合一を意識したメディア化促進** → 合一はどのように実現できるか？



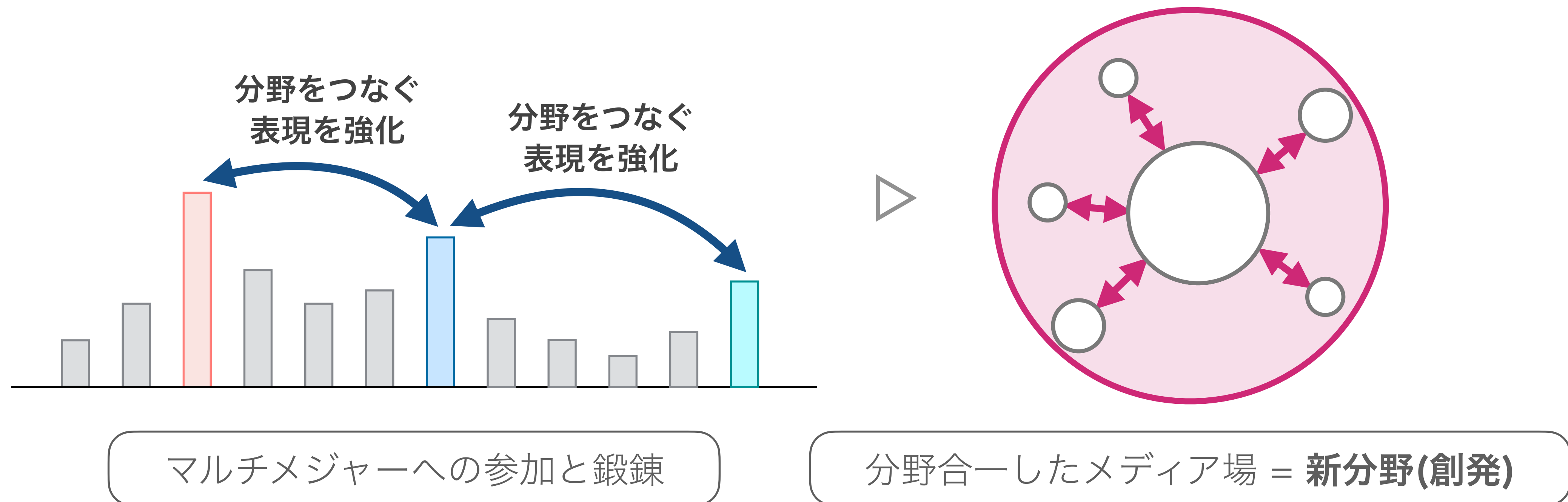
メディア化と分野の相互作用



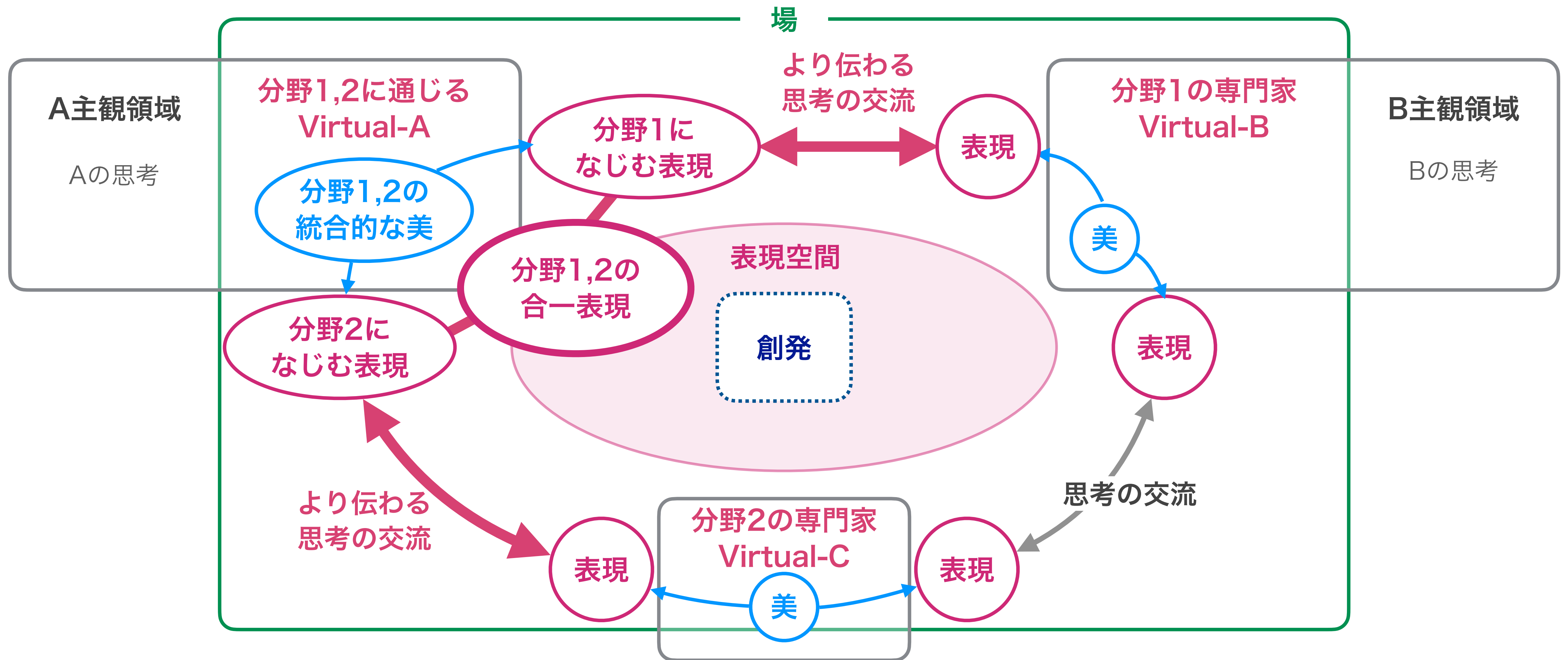
分野合一は相互作用を強化しうる

マルチメジャー3 - 分野通訳・分野合一

- ▶ マルチメジャーな人間は**分野間の共通項を導き、分野通訳表現に長ける**
- ▶ **人が分野合一のメディアムとなる** (マルチメジャー・メディアム)



メディア・モデルとマルチメジャー・メディアウム



まとめ

- ▶ 区別によって物事を整理する考えと対照的に, 合一によって物事の関係性から理解を深める考えがある
- ▶ 分野をつなぐことを重視するメディア・サイクルにおいては, 合一の感性が活かせるのではないか
- ▶ **マルチメジャー・メディアウム**
 - ▶ 複数分野を修めることは大変だが, 分野と分野の間にある重要なことに気づくためには必須
 - ▶ 社会では, 分野合一のメディアウムになり得るメディア人材が望まれている
- ▶ メディア実装においては…
 - ▶ 実装の前提として, 分野に合った交流は重要. 単一分野でもメディアウムの感性を意識しておく
 - ▶ またメディア実装は複数分野にわたる可能性が極めて多い. 分野合一は定期的に試みるとよい

本日の談義・考察一助

- a. 分野間通訳に求められることは何か, またどのような課題があるか
- b. 日本文化土壌にある主客合一の意識は分野合一に活かせるだろうか?
- c. 区別と合一は適切に使い分けるべき.
メディア実装においては区別と合一の使い分けはどう行くと良いか
- d. メディア学を修めた者が得意な役割を職種名で挙げてみてほしい

次回予定

メディア実装の勘所4

美を溶かす「ビューティフル・エヴォケーション」

参考文献

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶, 「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶, 「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
6. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
7. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
8. 竹田青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
9. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
12. アレックス・オスターワルダー他著, 小山龍介訳, 「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」, 翔泳社, 2012
13. ティム・クラーク他著, 神田昌典訳, 「ビジネスモデルYOU」, 翔泳社, 2012
14. ティム・クラーク、ブルース・ヘイゼン他著, 今津美樹訳, 「ビジネスモデル for Teams」, 翔泳社, 2012
15. 沼上幹, 「組織デザイン」, 日本経済新聞出版, 2004